

(株)〇〇〇 は、以下の項目を実践して、脱炭素経営に取り組みます。

■ 取組項目

以下の項目から、すぐに取り組むを3つ以上、取り組んでみたい内容も含めて6つ以上選んでください。

また、選んだ項目のうち、特に支援が欲しい項目があれば選択してください。

取組区分	取組内容	すぐに取り組む (すでに取り組んでいる)	取り組んでみたい	取り組むにあたり、 特に支援が欲しい
知る	脱炭素に関する情報を収集する（セミナー、研修参加など）	○		
	脱炭素経営の実践に向けた体制を整備する（担当者設置、社内勉強会）			
	市や関係団体が実施する脱炭素関連取組へ参加・協力する			
測る	自社の電気・都市ガスなどのエネルギー使用状況を把握する	○		
	自社のCO ₂ 排出量を把握する			
	使用エネルギーの削減余地を把握するため、省エネ診断を受診する		○	○
	CO ₂ 削減計画を策定し、目標を設定する			
減らす	照明や空調などの適切な使い方を意識し、身近な省エネに取り組む	○		
	通勤や業務時における公共交通の利用促進やエコドライブに取り組む			
	環境負荷の少ない資材・物品・原料の調達に取り組む			
	使用設備の稼働時間や運用の改善に取り組む			
	照明のLED化に取り組む	○		
	高効率空調への更新に取り組む		○	
	その他設備（照明・空調以外）の省エネ化に取り組む			
	再エネ設備（太陽光発電、蓄電池等）を導入する			
	社用車を電動化する（電気自動車など）			
	再エネ由来の電気を購入する（電力プランの切り替え）			
	自社所有建物の省エネ改修、ZEB化に取り組む			

■ 宣言（脱炭素経営に取り組もうとする）理由 （あてはまる項目に☑ ※複数選択可）

- ☒ エネルギーコストの削減
 ☐ ブランド力・認知度向上
 ☐ 企業の社会的責任
- ☒ 取引先など外部からの要請
 ☐ 事業の拡大、新たなビジネスチャンスにつながるから
- ☐ その他 ()

■ 自社の取組状況 (取組済の項目に☑)

- ☒ エネルギー使用状況を把握している ☐ CO₂排出量を把握している ☐ 削減目標（計画）がある

■ 取り組む上での課題、希望する具体的な支援など自社の状況について記載ください。

電気代の負担が年々増えている。また、今後、取引先からの脱炭素の取り組みの要請がありそうなことから、脱炭素経営の取り組みを実施していきたいと考えている。

自社の取り組み状況として、エネルギーの使用状況の把握は行っており、LED化にも取り組む予定だが、エネルギーコスト削減や脱炭素経営実践のために今後どのような対策を実施していくべきかわからない。そこで、まずは省エネ診断を受診するなど、脱炭素経営コンサルティングを受けてみたい。